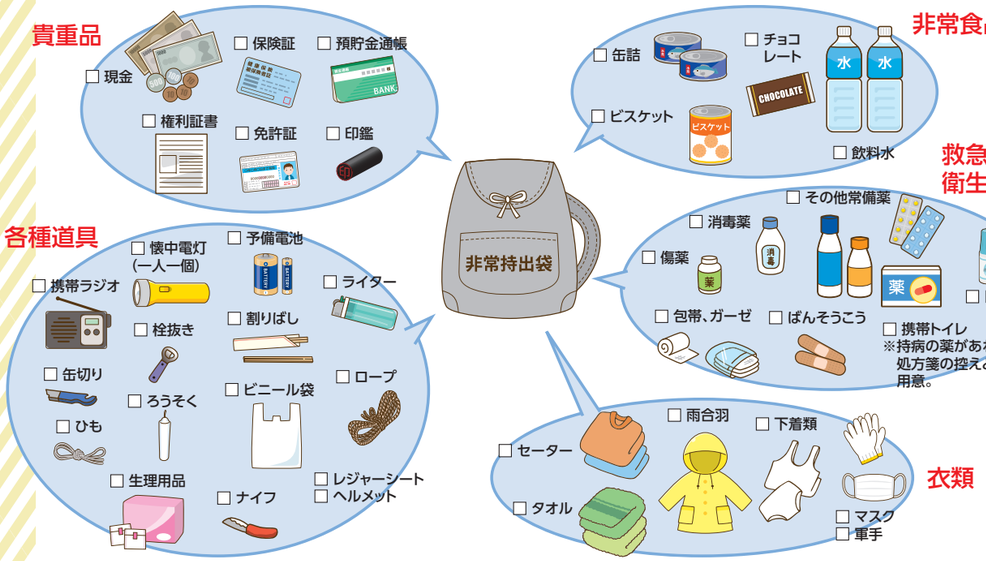
防災

家庭での備え

大きな災害が発生すると、電気・ガス・水道や電話などのライフラインが止まる、交通機関がストップする、物流が途絶えて長期間の物不足が続くなどの恐れがあります。災害時に必要なものを検討・整理して準備し、定期的にチェックしておきましょう。

非常用持ち出し品

避難するときに最初に持ち出すもの→リュックサックなどにまとめ、玄関・寝室など持ち出しやすい場所に



※乳幼児がいる場合：粉ミルク、ほ乳瓶（消毒セット）、離乳食、紙おむつ、おしりふき、おもちゃ、母子健康手帳など。
※妊婦がいる場合：生理用品、ガーゼ、さらし、新生児用品、母子健康手帳など。
※食物アレルギーのある人がいる場合：アレルギー対応食。
※高齢者・要介護者がいる場合：介護用品、軟らかい非常食、予備のメガネ・コンタクトレンズ、入れ歯、補聴器、大人用紙おむつ、補助具の予備、常備薬、障害者手帳など。
※ ペットがいる場合：ペットフード、ペット用品（食器、トイレ、リード、ケージなど）、飼い主の連絡先など。

非常用備蓄品

災害復旧までなんとか自力で生活するための用意をします。できるだけ7日分以上（最低でも3日分）の備えをしておきましょう。日常生活の中で、備蓄した水や食料を使いまわすこと（ローリングストック）でいざというときに賞味期限を切らすことなく、備蓄することができます。

●非常食

そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるものを準備しましょう。アルファ米やレトルトのごはん、缶詰、お菓子など。

●水

飲料水は、一人につき1日3リットルが目安です。

●燃料・その他

カセットコンロや予備のガスボンベ（多め）、衣類、洗面用具、薬、毛布、寝袋、災害用トイレ・トイレットペーパーなど。

ローリングストックとは

「必要なものを必要な分だけ」を実践し続けるため、備蓄（ストック）している食料や飲み物を賞味期限までに消費し、消費した分を新しく補充していく方法です。

地域での備え

大きな災害のときは、市・警察署・消防署等の公共機関が十分に対応できない可能性があります。そんなとき、地域住民の協力体制が不可欠です。

自主防災組織の必要性

過去の震災では、生き埋めなどで助けが必要な人のほとんどが、自力または家族や地域住民によって救助されています。「自分の命は自分で守る、自分たちのまちは自分たちで守る」という精神で自分に適した地域の活動に参加しましょう。

●平常時の活動

- 防災知識の普及（講習会等）
- 地域と各家庭での安全点検（危険箇所の確認、図上訓練）
- 災害時に配慮が必要な人の把握や支援体制づくり
- 防災用資機材の点検と整備
- 防災訓練の実施

●災害時の活動

- 本部の設置及び運営
- 災害情報の収集と伝達
- 出火防止及び初期消火
- 住民の避難誘導
- 災害時に配慮が必要な人の安否確認、負傷者の応急手当
- 炊き出し

災害時に配慮が必要な人への協力

災害時に配慮が必要な人は、災害時の情報把握、避難行動、生活の確保などが困難な状況におかれます。皆さんで協力し合い、積極的に支援するよう心がけましょう。

高齢者・病気の人には
複数の人で対応しましょう。急を要するときはひも等を使って背負い、安全な場所へ避難しましょう。

外国人・旅行者の人には
外国語が分からなくても、身ぶり、手ぶりで話しかけ、孤立させないことが大切です。

体の不自由な人には
それぞれの人に適した誘導方法を確認しましょう。

乳幼児・妊婦の人には
乳幼児はひも等で背負って避難しましょう。また、お腹の大きな妊婦さんは身体が思うように動かないので気を配りましょう。

地域ぐるみで防災活動（自主防災会）

問 危機管理防災課 地域防災係 ☎952-1294

大規模な災害、特に大地震が発生した場合には、市役所、消防署などの防災関係機関は全力をあげて災害対策に取り組みます。しかし、火災の同時多発、電話の不通、道路・橋梁・建物の損壊、停電や断水などによって、防災関係各機関の活動が著しく低下することが予想されます。このような事態に直面したとき、地域住民が消火や救出・救護などの応急活動を行わざるをえません。そのため、普段から防災計画に基づき、次のような活動をします。

情報班（情報収集と伝達）	消火班（初期消火活動）	救護班（救出・救護）	避難誘導班（避難場所へ）	給食給水班（給食・給水活動）	衛生班（消毒処理）

災害時の連絡方法

災害用伝言ダイヤル

大災害に際し、被災地との通話が困難になった場合、災害用伝言ダイヤルが提供されています。

171 をダイヤルした後ガイダンスに従ってください。

防災行政無線放送確認ダイヤル

防災行政無線（ぼうさいみさと）で放送された内容を、防災行政無線放送確認ダイヤルから聞くことができます。

☎0120-954-310　☎048-953-1125
※フリーダイヤルの使用可能範囲
固定電話：埼玉県内のみ
携帯電話：埼玉県、千葉県、東京都

災害時緊急連絡先

通報はあわてずに落ち着いて正確に伝えましょう！

火事・救急・救助
局番なし **119** 番

事件・事故
局番なし **110** 番

海の事件・事故
局番なし **118** 番

緊急速報メール

三郷市では災害発生等の緊急時に、携帯電話会社（ドコモ・ａｕ・ソフトバンク・楽天モバイル）が提供する、緊急速報メールで避難情報等を配信します。対応している携帯電話は登録不要で、市民のかたでなくても配信いたします。通信料、情報料は無料です。

メール配信サービスのご利用を

防災・防犯・イベント・子育てなど、希望する内容の情報を配信しています。

●登録の手順
❶右記の二次元コードを読み込むか、URLにアクセスしてください。
【携帯電話・スマートフォンの場合】
https://service.sugumail.com/s-misato/
【パソコンの場合】
https://service.sugumail.com/s-misato/member/
❷アクセスしたページから空メール（件名、本文を入力せずに送る）を送信してください。
❸自動で返信のメールが届きますので、本文に掲載されている登録用URLにアクセスしてください。
❹利用規約を確認のうえ受信したいメールの内容を選び、登録ボタンを押して完了となります。

迷惑メール防止の設定を行っている場合は、「@city.misato.lg.jp」からのメールが受信できるように設定してください。

- 専用コールセンター（平日午前9時～午後6時）　☎0570-055-783
- 広報課シティセールス係　☎930-7762

埼玉県防災情報メール

登録されたかたの携帯電話等に防災に関する以下の情報をメールでお知らせします。

- 気象警報注意報
- 地震情報
- 避難情報
- 危機管理情報
- 避難所等情報

http://saitamapref.bosai.info/bosaimail/index.html

情報の収集先

- 総務省消防庁ホームページ
  http://www.fdma.go.jp/
- 国土交通省気象庁ホームページ
  http://www.jma.go.jp/
- 埼玉県ホームページ
  http://www.pref.saitama.lg.jp/
- 三郷市ホームページ
  http://www.city.misato.lg.jp/

※災害時には、正確な情報に基づいて行動しましょう。
情報収集には、信頼性の高いサイトを利用しましょう。

わが家の災害時連絡先リスト

家族で**防災会議**をしましょう

年　月　日

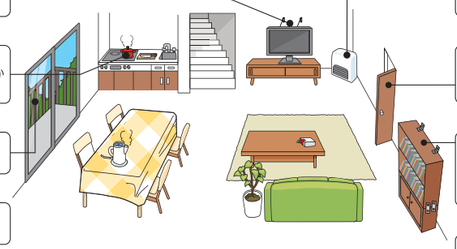
わが家の緊急時の避難（集合）場所	緊急のときのわが家の主要連絡先	安否情報を取り次いでくれる人（遠方の親戚や友人）の連絡先
一時避難所	名前	名前
	電話番号	電話番号
避難所	メール	メール

地震に備える日頃の準備

わが家の地震対策

地震対策は、行政だけでできるものではありません。個人の生命や財産を守るためには、皆さん一人ひとりあるいは家族が協力して地震に備えておく必要があります。屋内外について、地震に対する安全を点検しておきましょう。

家の中の安全対策



■テレビなどの転倒・落下防止
高い所には置かないようにし、しっかり固定するか、免震シートを貼る。

■コンロ
倒れやすいものや燃えやすいものを周囲に置かない。

■窓ガラス
飛散防止フィルムを貼る。

■寝室
背の高い家具などは置かない。

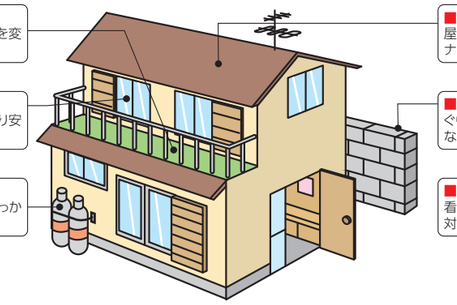
■ストーブ
自動消火機能付きのものにし、燃えやすいものは周囲に置かない。

■出入口
出入口までの通路に、家具などの倒れやすいものを置かない。

■本棚・食器棚
背の高い家具は、L字金具などで壁に固定する。家具の下に小さな板などを差し込み、壁や柱に寄りかかるように固定するのも有効。

■懐中電灯を設置
所定の位置に懐中電灯を設置しておく。

家の外の安全対策



■ベランダ
常に整理整頓し、落下する危険のある物は配置を変えるか固定する。

■窓ガラス
飛散防止フィルムを貼る。強化ガラスにするとより安全に。

■プロパンガス
しっかりとした土台の上に置き、チェーンなどでしっかり固定する。

■屋根
屋根瓦にひび割れ、ずれなどがあれば補強し、アンテナもしっかり固定する。

■塀・門柱
ぐらつきやひび割れがないか確認し、鉄筋が入っていない場合は補強しておく。

■商店の場合
看板のぐらつきがないか定期的に確認し、落下防止対策を行う。

地震が発生したときの行動

慌てず冷静に状況を判断し、身の安全を確保しましょう。

家では

まず身の安全を！

落下物や転倒物から身を守りましょう。

脱出口の確保

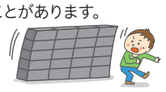
扉がゆがみ、開かなくなることがあります。

素早く火の始末

大きい揺れがおさまったら、素早くガスなどの火を消しましょう。

慌てて外に飛び出さない

慌てて飛び出すと、落下物でケガをすることがあります。



ガラスの破片に注意

割れたガラスの破片が散乱していることもあります。

正しい情報の収集

ラジオやテレビなどの情報に注意しましょう。

避難の準備

ブレーカーを落とすのを忘れず、徒歩で避難しましょう。

協力し合って応急救護

ケガをする人が多くなります。皆さんで助け合いましょう。

外出先では

屋外では

ビルから離れ、近くの広場に避難しましょう。

電車やバスでは

つり革や手すりにしっかりつかまりましょう。

エレベーターでは

直ちに各階のボタンを押し、停止した階で降りましょう。

海岸付近では

素早く高台に避難しましょう。

集客施設では

落ち着いて、係員の指示に従いましょう。慌てて出入口に殺到するのは危険です。

自動車運転中では

左側に寄せて停止させ、避難するときは、車検証を持って、ドアロックをせず、キーはつけたままにしましょう。

地下街では

停電しても非常灯がつきます。暗さに慌てず、落ち着いて壁伝いに歩き、出入口へ向かいましょう。

山や丘陵地では

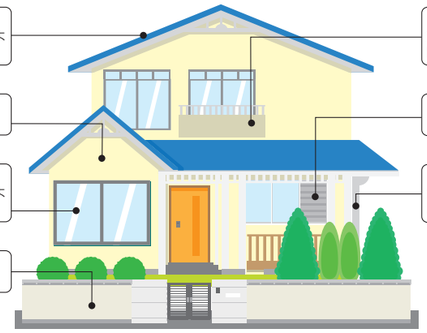
崖崩れなど危険な場所から離れましょう。

風水害に備える日頃の準備

わが家の風水害対策

台風や大雨・強風に対してあなたの家の対策は万全ですか？家の中や周囲の確認をしておきましょう。

屋外の安全対策



■屋根
瓦やトタンにひび・割れ・ずれ・めくれ・剝がれがないようにする。

■外壁
壁に亀裂や腐り、浮きがある場合は補強する。

■窓ガラス
ひび割れ、窓枠のガタつきがないか確認し、強風による飛来物に備えて外側から板でふさぐ。

■塀・門柱
ひび割れや破損箇所がある場合は、補強する。

■ベランダ
鉢植えや物干し竿（ざお）など、飛散する可能性が高いものは室内に入れる。

■雨戸
雨戸にガタつきやゆるみがないか、確認する。

■雨どい
落ち葉や土砂が詰まったり、継ぎ目のはずれや腐りがないか確認する。

屋内の安全対策

- 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備を。
- 避難に備えて貴重品などの非常持ち出し品の準備を。
- テレビやラジオで最新の情報を入手する。
- むやみに外出しない。
- 飲料水を確保しておく（断水などの恐れがある）。
- 浸水などの恐れがある地域では、家財道具や食料品・衣料・寝具などの生活用品を高い場所へ移動。
- 子どもや高齢者、傷病者や障がい者は早めに安全な場所へ避難。

行動の目安

✓ テレビ、ラジオや気象庁のホームページなどの気象情報に注意する

✓ 非常用持ち出し品の点検 避難場所や経路の再確認

✓ 危険な場所に近づかない（崖、川、側溝など）

✓ 危険を感じたら身の安全を図る（早めの避難。避難が困難な場合は2階など、より安全な場所へ移動）

✓ 避難情報に注意

～3日前程度	2日前	1日前	5時間前
大雨に関する気象情報	大雨、洪水注意報	大雨、洪水警報	大雨特別警報

浸水の恐れがあるとき

避難の呼びかけに注意を
危険が迫ったときには、市役所や消防署から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

動きやすい服装、2人以上での避難
避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。はだし、長靴は禁物です。動きやすい運動靴をはきましょう。

歩ける水深は膝くらいまで
歩ける水深は膝くらいまでが目安です。ただし、浅い場合でも流れがある場合は危険なため、高いところで救助を待ちましょう。

水面下は危険です
水面下にはどんな危険が潜んでいるかわかりません。長い棒を杖代わりにして安全を確認しながら歩きましょう。

車での避難は控えて
自動車での避難は緊急車両の通行の妨げになりますので、特別の場合を除き、やめましょう。

避難時の心得

高い場所へ速やかに避難する
より高い場所へ、より川から遠い場所へ速やかに避難しましょう。

徒歩で避難する
車では渋滞や危険を招く可能性があるため、徒歩で避難しましょう。

正しい情報を入手する
防災行政無線やテレビ、ラジオなどから正しい情報を入手しましょう。

河川や海岸には近づかない
地震の発生や、警報・注意報が発表された場合、海岸や河川は危険ですので、釣りや海水浴を行っている人は、速やかに海岸から離れ、高い場所へ避難しましょう。

避難指示に従う
避難指示が発令されたらただちに自治体の指示に従い、最寄りの避難所や近隣の高い建物など安全な場所に避難しましょう。

避難情報と住民が取るべき行動

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	災害発生または切迫	命の危険　直ちに安全確保！	緊急安全確保※1
		＜警戒レベル4までに必ず避難！＞	
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示（注）
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報（気象庁）

※1　市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない。
※2　警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである。
（注）避難指示は、令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令する。

気象警報・注意報

気象庁が発表する特別警報・警報・注意報は、県、市及び関係行政機関へ伝達され防災活動などに利用されるほか、市や報道機関などを通じて地域住民の皆さんへ伝えられます。

区分	発表の基準	対象となる現象や災害
注意報	災害が起こる恐れのあるとき	大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪
警報	重大な災害が起こる恐れのあるとき	大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
特別警報	警報の発表基準をはるかに超える豪雨などが予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合	大雨、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮

※「特別警報」が発表されていないからと安心せず、最新の気象情報、注意報、警報を活用して、早めの行動を取ることが大切です。

避難場所一覧

避難場所名	所在地	電話番号
早稲田小学校	三郷3-2-1	952-4151
八木郷小学校	鷹野1-35-1	955-0912
戸ケ崎小学校	戸ケ崎3-76-1	955-0913
彦成小学校	彦倉1-133	952-1265
高州小学校	高州2-275	955-0097
吹上小学校	寄巻921-1	955-5964
桜小学校	彦成4-5-16	957-5033
鷹野小学校	鷹野3-211	955-1911
新和小学校	中央2-28-12	952-0121
幸房小学校	茂田井88	952-0211
立花小学校	彦成4-3-18	957-1266
彦糸小学校	彦成3-10-23	957-0201
前谷小学校	戸ケ崎2-600	955-9331
彦郷小学校	彦成3-8-29	957-9911
高州東小学校	高州2-409	955-7711
丹後小学校	早稲田5-3	957-1217
前間小学校	前間197-1	958-1211

避難場所名	所在地	電話番号
瑞木小学校	さつき平1-6-1	957-1310
後谷小学校	後谷36-3	959-4500
南中学校	鷹野3-356	955-0550
北中学校	泉2-13-1	952-5281
栄中学校	栄4-325	952-1201
彦成中学校	彦成4-1-19	957-1201
彦糸中学校	彦成3-14-4	957-1215
前川中学校	栄5-141	953-4401
早稲田中学校	彦成5-56	958-1231
瑞穂中学校	大広戸1001	957-3355
県立三郷高等学校	花和田620-1	953-0021
県立三郷北高等学校	大広戸808	952-0151
県立三郷工業技術高等学校	彦成3-325	958-2331
県立三郷特別支援学校	駒形56	952-1205
瑞沼市民センター	上彦名870	950-2277
獨協医科大学附属看護専門学校三郷校	彦成3-11-21	948-7580

▶災害時帰宅支援ステーション

災害発生時には、右のステッカー等が貼ってある店舗（※）において、水道水やトイレ、情報の提供を受けることができます。
※店舗例：コンビニエンスストア、ファストフード、ファミリーレストラン、ガソリンスタンドなど

わが家の避難地図を作りましょう

避難地図が完成したら、実際に歩いて周辺の状況や所要時間を確認しましょう。また災害時は、普段と状況も異なり、避難に時間がかかることを前提に行動しましょう。

避難経路を考えるうえでの注意事項
- 古い建物にはさまれた狭い道路は地震の際に倒壊等で通行できないことも想定されます。そのような区域がある場合は、危険情報（古い建物、狭い道路など）も記入し、それらを避けてなるべく広い避難経路を選びます。
- その他、避難時に危険が予想される箇所（危険物施設、倒壊の恐れがあるブロック塀、橋など）も避けるようにしましょう。

災害見舞金

問 ふくし総合支援課 地域福祉係 ☎930-7775

火災や風水害などの災害により被害を受けた市民またはその遺族に対し、見舞金または弔慰金を支給する制度です（災害救助法の適用を受けたかたを除く）。